

# 原発に頼らない社会を！ PartVI 電力市場の拡充に向け



ご案内の通り、昨年4月から電力の自由化が導入されました。固定価格買取制度の進展とともに、多くの再生可能エネルギーを用いて発電する会社が増え、従来のように地域を独占してきた電力会社から電気を買わないで、利用者の独自の判断で購入することができるようになったのです。

しかし、そのためには新電力の電気価格が安いのか高いか、それを私たちが判別できなければなりません。そして、そのための判断手段として、市場(マーケット)の存在は不可欠となります。

下グラフの年次別の推移からも、徐々にではありますが、我が国においても、卸電力市場が拡大しつつあります。しかし、まだ電力需要全体の2%程度。仮に、取引市場のシェアを拡大させるためには、イタリアやスペインに見られるように「準強制取引」にしたほうが、早計かも知れませんね。

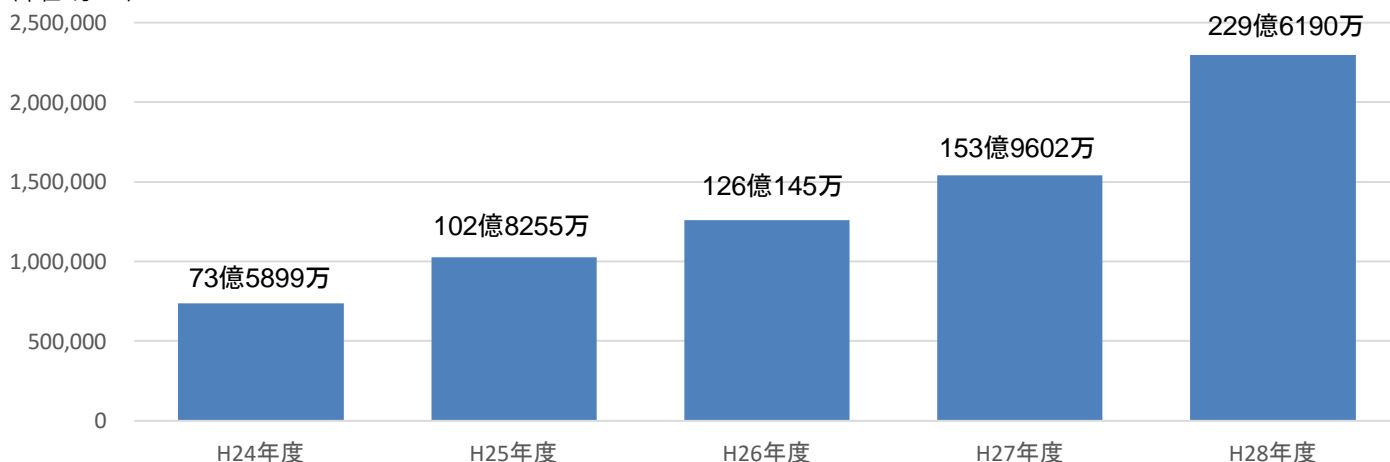
何より、どの発電システムから生産される電気が安価なのか…。原発よりも太陽光や風力、水力の方が安心でお手頃という、そういった購入者の感覚と、さらに発電者側の経営努力が勝敗の決め手となります。

## 【各国における卸電力取引所の状況】

	イギリス	フランス	ドイツ	イタリア	スペイン
取引市場のタイプ	任意取引	任意取引	任意取引	準強制取引	準強制取引
スポット取引シェア	9%	14%	36%	67%	89%

## 【我が国の卸電力市場の推移】

(単位: 万kwh)



「今、出来ること」

「あなたの悪い癖」と妻からよく言われる。

自分の力量を棚に上げて、テレビを観ながら野球解説すること。問題が解決したわけでもないのに自分の価値観と尺度で納得してしまうこと。

そんな私が最近思うことは……。

近い将来、世界は米中主導の秩序が力によって形成され、再び敵か味方か対峙の構図が現れるのではないかと懸念されること。

そして、世界の人口増加と地球環境の破壊が進み、自然の猛威が引金となって食糧と水源の争奪が起るのではないだろうか。日本の備えは。

教育勅語肯定の動きなどに裏付けされる安倍内閣の国家感を思うとき、憲法第9条改正によって戦争へのシナリオに引き寄せられているのではと思うのは杞憂だろうか。果たしてほんとうのところはどうであろうかと。

今、私に出来ることは、水戸議員の力の源泉である後援会、支持者の民意を汲み取り、それを政策として強く主張して頂けるよう、エールを送り続けることだと思っている。

今月の  
水戸まさし応援団

水戸応援団

Mチーム 益田正廣

- ◆HP <https://www.kickoff310.com/>
- ◆メール [kickoff310@yahoo.co.jp](mailto:kickoff310@yahoo.co.jp)
- ◆Face Book 「水戸将史」で検索
- ◆Twitter @mito\_kickoffで検索
- ◆メルマガ 登録はHPから

- ◆国会事務所  
〒100-8982  
東京都千代田区永田町2-1-2  
衆議院第二議員会館601号室  
TEL:03-3508-7027 FAX:03-3508-3827

- ◆地元事務所  
〒245-0008  
横浜市泉区弥生台26-6  
TEL:045-814-3001  
FAX:045-814-3007